

# めざせ！ 昔遊びの達人

< 小学校第1・2・3学年 >

**目的** 昔遊びの体験を通して、お年寄りの知恵やすばらしさに気づく。  
 自分が得意になれる遊びを追究する。  
 友だちのよさに気づくとともに、自分もがんばろうとする気持ちをもつ。  
 活動を通して自分のよさを表現し、自尊感情を高める。

< 気づく >

## 老人クラブのみなさんと昔の遊びをしよう

昔の遊びを通して、地域のお年寄りのみなさんとふれあう。  
 自分が得意になれる遊び（技）を見つける。

1・2年生での生活科との関連「昔遊び」

地域での昔の遊び体験

< 広げる深める >

## 昔遊びの達人になろう

活動に没頭したり、繰り返したり、仲間に広げたりしながら自分が得意になれる遊び（技）を追究しようとする。  
 友だちのよさや、自分のよさや可能性に気づかせる。  
 老人クラブの方々の力を得ながら、困難や課題を乗り越え、活動に没頭したり、繰り返したりして、遊びを高め追究する。

道徳との関連  
(不とう不屈)

老人クラブの方々の力も借りながら、子どもたちが困難や課題を乗り越えられるよう支援する。

< 計画する >

## 「昔遊びの達人発表会」の準備をしよう

他学年の人にわかりやすく説明したり、いっしょに楽しく遊んだりするための工夫を考える。  
 発表会を成功させるために、友だちと協力してすすめる。

どの子ども活躍できる場があるように子どもの動きや活動に注意する。

< 実践する >

## 「昔の遊び達人発表会」をしよう

自分の得意な遊び（技）をわかりやすく紹介しようとする。  
 「難しいことに挑戦した。できるようになった。いっしょうけんめい聞いてくれた。最後までできた。」など自分に自信をもつ。

< 振り返る >

## 遊びを広げよう

遊びを「縦割り活動」「他学年（学級）との交流」「地域の方々との交流」などに広げていこうとする。